

I 本研究所の会員特典

本研究所会員になると①年4回発行の機関誌『リベラシオン』（1320円10%税込）およびニュース配信による人権関係などの情報のお届け、②研究所発行書籍割引（+10%税）（研究所または行事での書籍販売時）、③主催行事の割引、④研究所所蔵資料の閲覧利用、⑤蔵書の貸出、⑥研究や研修に関する相談などの特典があります。ぜひご活用ください。また、会員の拡大にもご協力ください。

II 第1回 部落問題部会研修会を開催

日時：8月8日（月）10:00～16:00 資料代：¥500

会場：「福岡県ボランティアセンター（福岡県吉塚合同庁舎5階 本研究所事務局は4階）

ホームページ右上の「研究活動」に「部落問題部会」を新設しました。詳細は、添付の第1回研修会の案内チラシを参照してください。申込は、不要です。部会員以外の方の参加もできます。

***当日は、合同庁舎の駐車場は利用できません。近くの有料駐車場をご利用ください。**

問合せは：事務局まで TEL（092）645-0388（担当：峰）

III <報告>第39回九州地区部落解放史研究集会

標記研究集会が、7月28日（木）～29日（金）大分県教育会館多目的ホールで開催されました。1日目は、本研究所関儀久さん【報告1】「感染症と部落問題－近代都市のコレラ体験－」【報告2】花田昌宣さん（熊本県部落解放研究会）「戦後高度経済成長と同和対策事業」という2本の報告と質疑討論でした。2日目は、【研究討議1】長瀬陽一さん（長崎県人権教育研究協議会）授業実践「命令にしたがわなかった対馬の人々」と【研究討議2】橋口和孝さん（長崎県人権研究所）資料解説「対馬の近世資料を読む－対馬に召致された被差別民をめぐって－」でした。対馬藩には身分制度でいう「その他の身分」の人がいませんでした。そこに、藩の都合で他の藩からつれてこられた「その他の身分」の人々に対して、対馬の人々は差別的な対応をしませんでした。これに対して藩は、繰り返し差別を強制する通知を出しました。そのうち対馬の人々は、差別をするようになりました。差別が「差別する側」の都合で生み出されることがよくわかりました。80名を超える参加がありました。（S）

IV 『全国水平社・全九州水平社設立百周年講座～部落解放運動100年のはじまり』開催決定

日時：2022年9月11日（日）14:00～16:00（13:30開場）

会場：嘉麻市碓井住民センター大ホール（嘉麻市上碓井446-1）

内容：提起1 改善運動から水平運動へ 首藤卓茂さん

提起2 花山清手紙関連 関儀久さん（問合せは、事務局まで）

V <ちょっと一言>

1年生と3年生の孫がいます。終業式もおわり『あゆみ』をもってきました。「よく、がんばったね」とほめながら、見ていると一学期の所見の欄がありません。「あれっ。」と思っていたら、7月28日の西日本新聞に「あなたの特命取材班」で「通知表「所見」減らすのOK?」と問題提起がなされていました。教員の負担軽減の一環として「所見」の記入回数を減らす動

きが福岡市の小学校などで広がっているそうです。教員の負担軽減に賛成しつつも、「家庭では見えない子どもの姿や成長を知りたい」など保護者の声がありました。また、「特に若手には負担だが所見以外でも保護者と連絡を取り合える関係づくりが不可欠だ」という先生の声もありました。2学期制の学校や九州の自治体によっての対応状況も出ていました。学校の多忙化は「所見を書かない」だけでは解消できるものではありません。子どもたちが「学校に行くのが楽しい」といえる「学校づくり」に先生たちが集中して取り組めるようにすることが大切だと思います。(M)

*会員のみなさんの<ちょっと一言>への投稿も歓迎します。

ニュース担当：峰 <会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 ホームページ <https://www.f-jinken.com/>

tel 092-645-0388 fax 092-645-0387 email info@f-jinken.com (登録解除はこちらへ)

[人権研究所の本]

新谷恭明『校則なんて大嫌い！—学校文化史のおきみやげ—』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは—』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年 』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>